

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度第5回鈴峰中学校学校運営協議会  
兼第3回鈴峰中学校区学校運営協議会拡大協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年11月28日(月)

2 場 所 鈴峰中学校体育館

3 内 容

(1) あいさつ

<山本鈴峰中学校地域COより>

- 昨年に引き続き、集まったの拡大協議会となり、実質2回目の実施となる。この機会を有効に、対面での情報交換をお願いしたい。
- 今回は名村一宏さんに講演をしていただくので、地域づくりの参考にしてもらいたい。

<三浦校長より>

- 対面による会がなかなか行えない中での学校運営協議会の支援は大変ありがたい。
- 地域との連携は学校としても重点的な取り組みの1つである。有意義な話し合いをしたい。

(2) これまでの経過

(3) これまでの活動

(事項書参照)

(4) 講演「地域づくり協議会の活動について」

<名村一宏さん(鈴西小学校学校運営協議会委員長)>

- 深伊沢地区内の3つの地区の連携が薄いことから、何か1つのことを取り組もうと、まずは休耕田でのもち米作りから始まった。
- 大人が田んぼを整備して、子どもたちが泥んこ遊びや田植えをするなどの活動ができた。
- 2年前から「わらアート」づくりを始めたところ、自然に子どもたちが集まって、ともに作業をすることができた。
- 新型コロナの感染状況もあり、「ほっこり」するような作品作りを心がけた。
- 地域が一体となって活動できてきた。
- 地域で1つのことに取り組み、それを継続させることで、一体感が生まれてくる。

## (5) 分科会

### ① ICT 活用

- 学校での使い方を聞くと、教育に大変良い効果があると感じられた。
- 半面、使っている時間が長くなることによる弊害についても共有することができた。
- 家庭と連携して取り組む必要を感じた。

### ② 学力向上と家庭学習

- 中学校のテスト前の家庭学習はまずまずできている。
- 小学校では、家庭での自主学習で書く力を養うことがとても重要である。
- 校区の傾向として、スマホの使用時間については2極化している様子がある。
- 小学校低学年のうちに良い習慣をつけることが重要である。

### ③ PTA 活動・環境整備

- 地域と連携が取れている。
- 校庭に樹木が多いので、除草・伐採が追いつかない現状がある。
- 協力していただける方が限定される傾向があるので、人材確保が課題である。
- PTA 活動は、子ども目線の活動も大切である。

### ④ 安全安心（交通安全・防災）

- 通学路を中心に、地域で安全に配慮した見守りをしている。
- 立て看板を設置したが、県外からの車も多いので、大変有効であった。
- 横断歩道を付けてもらうなど、行政への働きかけも必要。

### ⑤ 地域づくり協議会との連携・協働

- 協議会メンバーに学校長が入っているので、子どもの安全確保の面で連携が取れている。
- 長期休業中の学習支援なども行っているが、新型コロナの影響で実施できないこともあった。
- 校区と行政区がずれていることによる課題があるものの子供中心の活動で乗り越えられるのではないかな。

## (6) 講評

<教育支援課 加藤 CS コーディネーターより>

- 義務教育9年間を考えると、今回のように小中が集まって情報交換することは、大変意義があることと思われる。
- それぞれの学校が抱える課題について、お互いに意見交換することは、大変有効である。
- このような協議会は、学校・保護者・地域それぞれが、子どもたちの成長という大きな目標に向かっていくことが確認できる場になっている。